

競 技 日 程

【 監督会 8:15 】【 開始式 9:00 】

令和 3 年 7 月 11 日(日)

〈 トラックの部 〉					〈フィールドの部〉
1	9:15	女子	コンバインド'A	80mH (2 組)	【 走 高 跳 】
2	9:25	男子	コンバインド'A	80mH (1 組)	
3	9:35	女子	5年	100m 予選 (6 組上位 8 名)	
4	9:55	女子	6年	100m 予選 (5 組上位 8 名)	
5	10:15	男子	5年	100m 予選 (5 組上位 8 名)	
6	10:35	男子	6年	100m 予選 (5 組上位 8 名)	
7	10:55	女子	1・2年	50m 決勝 (7 組 タイムレース)	
8	11:25	男子	1・2年	50m 決勝 (7 組 タイムレース)	
9	12:00	混合	5・6年	400mR 予選 (4 組上位 8 チーム)	【 走幅跳 】
10					
11					
12	12:35	混合	1～4年	400mR 決勝 (4 組 タイムレース)	
13	13:00	女子	5年	100m 決勝 B	9:30 女子 コンバインド'B { A ピット B ピット 10:30 男子 コンバインド'B { A ピット B ピット
14	13:05	女子	5年	100m 決勝 A	
15	13:10	女子	6年	100m 決勝 B	
16	13:15	女子	6年	100m 決勝 A	
17	13:20	男子	5年	100m 決勝 B	【 ジャベリックボール投 】
18	13:25	男子	5年	100m 決勝 A	
19	13:30	男子	6年	100m 決勝 B	
20	13:35	男子	6年	100m 決勝 A	
21	13:40	女子	3・4年	100m 決勝 (12組 タイムレース)	
22	14:20	男子	3・4年	100m 決勝 (14組 タイムレース)	
23	15:05	混合	5・6年	400mR 決勝	

＜ 競 技 注 意 事 項 ＞

1. 本大会は、2021年（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項によって行う。
2. 競技場の使用上の注意
 - ① 更衣室は、男子・女子各更衣室を利用すること。（正面スタンド）
 - ② 貴重品は各自保管すること。（盗難防止上）
 - ③ 主競技場トラックに限り8：00～8：45の間、開放する。（フィールド芝生立入禁止）
 - ④ 医務室は正面スタンド下に設ける。
 - ⑤ 3年生以上はオールウェザー用スパイクを使用してもよいが、9mm以下の平行ピンを使用すること。
スパイクは、競技場以外では履かないこと。（スタンド・通路・ロビー等は使用禁止）
 - ⑥ 3・4年100m、5・6年100m、400mリレーのスタートでは、スパイクシューズでない競技者もスターティングブロックの使用ができる。
 - ⑦ その他の注意事項は、役員・審判員の指示に従うこと。
3. 競技者の招集について
 - ① 招集所はメイン競技場第3ゲート付近に設ける。
 - ② 招集には、各団体の指導者または保護者が競技者（児童）を必ず引率すること。（2名まで）
 - ③ 競技者は、競技開始時刻 30分前（走幅跳は40分前）までに招集所に集合してコールを完了すること。
※組数の多い 1・2年50m、3・4年100m、5・6年100m のコール完了時刻は次のようにする。

1組 ～ 5組	競技開始30分前
6組 ～ 10組	競技開始15分前
11組 ～	競技開始時刻
 - ④ リレー競技は、予選・決勝ごとにオーダー用紙を競技開始時刻1時間30分前までに競技者係（招集所）に提出すること。（オーダー用紙は招集所にあります。）
 - ⑤ 最終コールを受けて競技者係の指示に従って入場すること。
4. 競技運営について
 - ① トラック競技の走路順（レーン）、フィールド競技の試技順はプログラムに記載してある通りで行う。
 - ② トラック競技
 - ・ スタートの合図はイングリッシュコールとする。
 - ・ スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
 - ・ 棄権があった場合は、そのレーンをあけて競技を行う。
 - ・ 100m（5年・6年）では、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8名までの選手、B決勝を予選9番～16番までの選手で行う。

- ・ 5・6年生男女混合リレーは、予選をタイムレースで行い、予選上位8チームによる決勝を行う。
- ・ オープン種目（1～4年生）は、タイムレース決勝とする。
- ・ リレー競走におけるテイクオーバーゾーンは基準点から手前20m 後ろ10m の合計30m とする。テイクオーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ・ リレー競走に出場する選手のユニフォームはできるだけチームの全選手とも同一デザインとする。
- ・ リレーに出場するマーカーテープは招集所に用意されているものを使用する。
- ・ 出場競技の時刻が2種目重複していてコールに来られない場合は、事前に審判員にその旨を必ず伝えておくこと。
- ・ 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードル台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまでを11mとする。
- ・ 競技者の安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路（レーン）を走ること。

③ フィールド競技

- ・ 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。男女とも1m05cm から試技を行う。また、バーの上げ方は以下の通りとする。

男子…(練習 1.00m)1.05-1.10-1.15-1.20	以降、3cm刻みで上げるが、1人になった時は その限りではない。
女子…(練習 1.00m)1.05-1.10-1.15	

- ・ 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
- ・ 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- ・ ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。（やり投のピットを使用する。）
- ・ ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることとする。羽だけを持って投げることは禁止する。

④ コンバインド競技

- ・ 本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインドA：80mハードル、走高跳
コンバインドB：走幅跳、ジャベリックボール投
- ・ 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2020）』による。
- ・ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ・ 100点以下の記録は、すべて100点とする。
- ・ スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。
- ・ スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。
- ・ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ・ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。1位が同点の場合は、各2種目の中で得点を比較し、最高得点を取った競技者が全国大会に出場できる。それでも差がつかない場合は、抽選を行う。

5. 競技場への入退場について

- ① 入場は、すべて係員の誘導および指示に従うこと。
- ② 退場は、審判員の指示に従うこと。

6. 表彰

各種目 8 位まで表彰状を授与する。

7. その他

- ① 救急・保護については、応急処置はするが、あとは主催者において責任を負わない。
- ② 監督・付き添い者に対し、主会場内での競技者の誘導をお願いすることがあります。御協力をお願いします。
- ③ 横断幕・チーム旗・のぼり旗等は、メインスタンド全て、サイドスタンド最前列、バックスタンドK階段からL階段の間の中段手すりならびに最前列には使用しないこと。
- ④ 競技会場（練習場・応援席）で生じたゴミ類は全て持ち帰ること。
- ⑤ 不明な点は、本部（総務）に問い合わせること。
- ⑥ プログラムは、受付にて 1 部 5 0 0 円で販売する。
- ⑦ 全国大会出場資格について

本大会の全国大会選考種目（5・6年生）優勝者（リレーは除く）は、9月18日（土）～19日（日）（競技会は19日）に新横浜・日産スタジアムで開催される全国大会に出場する資格を得られる。

- (1)同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。
（コンバインドA・Bも1種目とする）
- (2)優勝者の辞退があれば、順次下位の者に出場資格がある。
- (3)3日間全日程参加できる者。
- (4)全国大会出場者は、大会終了後、申し込み必要事項の説明会をします。